

特別会計

一般会計と区別が必要な事業の会計

8つある特別会計は
いずれも赤字はありませんでした

※各項目・区分ごとに四捨五入しています

保険料などは一般会計とお財布を分けて、収入と支出を確認しやすくしているんだね

区分	歳入	歳出	差し引き	区分	歳入	歳出	差し引き
土地区画整理	4.1億円	4.1億円	0円	後期高齢者医療	294億円	282億円	12億円
駐車場	3.0億円	3.0億円	0円	介護保険	1,581億円	1,552億円	29億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	5.8億円	3.8億円	2億円	基金	22億円	22億円	0円
国民健康保険	1,841億円	1,822億円	19億円	公債	3,945億円	3,945億円	0円

企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

収益的収支※1は、中央卸売市場・路面電車は赤字、市立札幌病院・地下鉄・水道・下水道は黒字です

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致しないところがあります
※1 企業の経営活動に伴って生じる全ての収益と費用

	市立札幌病院	中央卸売市場	路面電車	地下鉄	水道	下水道
主な建設改良事業	老朽化した設備や、医療機器の更新	老朽化に伴う市場設備の更新、改修工事	低床車両と除雪車両の製造や停留場の改修工事	南北線シェルターの耐震工事、エレベーターなどの更新工事	施設、水道管路の更新や耐震化	老朽化した管路や施設の改築、雨水対策、地震対策
収益的収支	収入 259億円 -) 支出 239億円 21億円	収入 21億円 -) 支出 22億円 -0.3億円	収入 11億円 -) 支出 14億円 -2億円	収入 416億円 -) 支出 383億円 33億円	収入 462億円 -) 支出 351億円 112億円	収入 499億円 -) 支出 465億円 34億円
資金の状況	52億円の資金残※2	10億円の資金残	6億円の資金残※3	21億円の資金残	170億円の資金残※4	72億円の資金残
赤字の累積額	37億円	46億円	9億円	2,084億円	なし	なし

※2 一般会計からの長期借入金25億円を含む
※3 一般会計からの長期借入金6億円を含む
※4 水道施設更新積立金96億円を含む

資産

※令和4年3月31日現在

基金 特定の事業や、財源が不足したときに使う貯金
■残高…4,243億円
財政調整基金319億円など23基金

財産 公園や学校などの公有財産や物品、債権

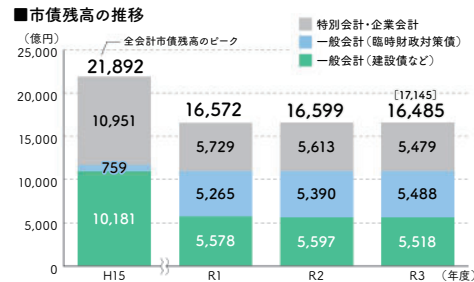
■公有財産…土地5,533万㎡、建物(延べ面積)581万㎡、有価証券14億円、出資による権利150億円
■物品(100万円以上のもの)…5,689点(台)
■債権(民間への貸付金など)…34億円

市債

市債残高の全会計合計は減少

市の借金である市債の残高は1兆6,485億円となり、前年度と比べて0.7%減少しました。市のまちづくりの計画であるアクションプラン2019で見込んでいた額を下回っています。

市債残高は2年ぶりに減少したんだね



※〔 〕内はアクションプラン2019での見込み
※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないところがあります

さっぽろのお財布

一緒に見ていきましょう!

市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするため、決算や予算の執行状況を毎年公表しています。このページでは、令和3年度の決算の概要や財政状況をお知らせします。【詳細】企画調査課☎211-2216

令和3年度決算の状況

一般会計

福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計

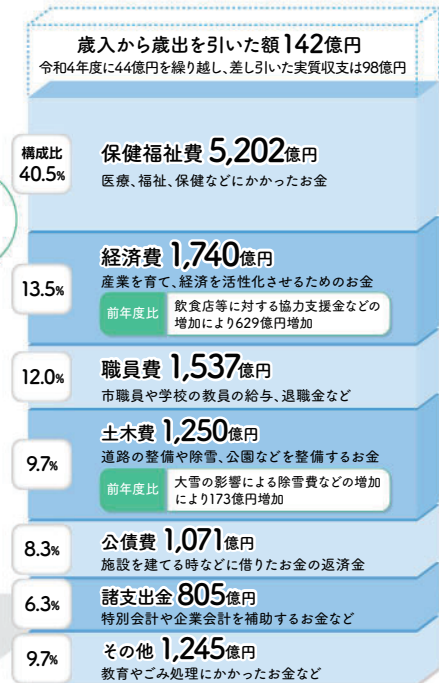
歳入から歳出を差し引いた収支は142億円の黒字です

予算の見込みに比べて市税などの歳入が増えたことにより、黒字収支を維持しています。
※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計数が一致しないところがあります

歳入総額 1兆2,992億円
前年度比97億円増(0.8%増)

歳出総額 1兆2,849億円
前年度比112億円増(0.9%増)

市民1人当たり 65.2万円※1



※1 令和4年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

市の財政の特徴



自治体の財政状況を示す指標である「健全化判断比率」は良好な水準です。しかし、医療や福祉などにかかる費用が増え、自由に使えるお金が少ない状態が続いており、油断はできません。

健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	札幌市	早期健全化基準*
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率 全ての会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率 年間の借入返済額の割合	2.7%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借入などの割合	29.3%	400%

*この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要になります

自力で得る収入が少なく、国からの交付金が多い

財政力指数(高い方が健全)

標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合

0.724

政令市20郡市中17位
政令市平均0.842

定期的な収入に対して、自由に使えるお金が少ない

経常収支比率(低い方が健全)

お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているかを示す割合

93.0%

政令市20郡市中9位
政令市平均88.1%

市の財政の長期的な見込みと取り組み

今後の財政運営は？

中長期的に持続可能な財政構造への転換を進めていくため、財政基盤の強化を図るとともに、財産の戦略的な活用が必要です。

- 子育て支援やまちのリニューアルなど積極的に予算を配分しながら、各事業の見直しを進め、めりはりのある財政運営を行う
- 将来世代に過度な負担を残さないよう、市債の適切な管理を行うとともに、市税などの収納対策や経済活性化により収入を増やし、財政基盤を強化
- 今後もまちづくりの取り組みを進めるため、基金を活用するとともに、不測の事態への備えも含めて適正な基金残高の水準を維持

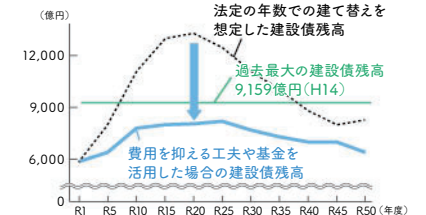
重点的な取り組み

公共施設の更新の必要性に対応して建て替え費用を抑制

1970年代に急速に成長した札幌は建物の更新時期も集中しています。そのため、費用を抑える工夫が必要です

- 建物を長く使えるように、改修や修繕を実施
- 建て替え時期を分散させて、費用の偏りを軽減
- 施設の機能を維持しながら複合化を進め、総量を抑制

建設費に充てられる市債(建設債)残高の見直し



令和4年度予算の執行状況

※令和4年9月30日現在



本年度のお金の使用状況だね

一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
1兆2,848億円	37.3%	38.6%

特別会計 ※公債会計を除く

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,812億円	37.2%	40.0%
介護保険	1,613億円	40.8%	40.4%
その他	335億円	35.2%	30.1%

市債残高

一般会計	特別会計	企業会計
1兆872億円	9億円	5,240億円

企業会計(収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	274億円	40.8%	259億円	47.2%
中央卸売市場	22億円	48.8%	20億円	45.8%
路面電車	14億円	16.6%	17億円	16.1%
地下鉄	408億円	50.9%	404億円	21.4%
水道	457億円	47.6%	373億円	40.5%
下水道	508億円	38.1%	489億円	16.0%

基金残高 4,855億円

一時借入金残高 58億円(路面電車、地下鉄、下水道)

市の財政の詳細のほか、本年度の予算の執行状況は、ホームページでご覧になれます

札幌市の財政 検索